

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年2月9日

【四半期会計期間】 第95期第3四半期
(自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 舩越義和

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部本部長 佐塚真弘

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03 - 3667 - 7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員管理本部本部長 佐塚真弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第94期 第3四半期 連結累計期間	第95期 第3四半期 連結累計期間	第94期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (千円)	14,717,594	15,257,315	19,347,773
経常利益 (千円)	875,034	1,146,866	856,409
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	621,437	748,500	713,993
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	641,451	1,393,497	754,981
純資産額 (千円)	15,892,303	17,105,044	16,006,946
総資産額 (千円)	22,203,458	24,058,365	22,231,123
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	23.14	27.88	26.59
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	71.9	71.3	72.2

回次	第94期 第3四半期 連結会計期間	第95期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	9.05	9.41

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が進み、景気は総じて緩やかな回復基調が続いております。

精糖業界においては、消費が減少傾向にあるなか、加糖調製品や異性化糖及び他甘味料の浸食など厳しい販売状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるなか、砂糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,257百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益875百万円（同25.2%増）、経常利益1,146百万円（同31.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益748百万円（同20.4%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

精糖

精糖事業においては、菓子、冷菓向けの販売が好調な荷動きでありましたが、夏場の飲料向け販売が伸び悩み、期待された年末需要でも回復することはできず、販売数量は前年同期を下回りました。利益面では引き続き、効率的な原料調達や製造コスト削減に努めた結果、増益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高9,323百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益1,127百万円（同7.4%増）の減収増益となりました。

機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、整腸作用、血糖値抑制、血中脂質低減に関する機能性表示が受理されたことに加え、低糖質ブームが追い風となり、国内新規採用が増加し増収となりました。連結子会社ユニテックフーズ(株)は主力製品ゼラチンの販売が回復し、その他の商品群も拡販効果により増収となりました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高5,363百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益13百万円（前年同期営業損失91百万円）の増収増益となりました。

不動産

不動産事業の業績は、売上高460百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益411百万円（同2.4%増）の増収増益となりました。

その他食品

その他食品は、DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd.の製パン事業であります。業績は売上高110百万円（前年同期比45.4%増）、営業損失99百万円（前年同期営業損失80百万円）の増収減益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8.2%増加し、24,058百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ5.1%増加し、9,790百万円となりました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ10.5%増加し、14,267百万円となりました。これは主に有形固定資産に含まれる土地及び投資有価証券の増加等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ11.0%増加し、4,243百万円となりました。これは主に買掛金及び「その他」に含まれる未払消費税等の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ12.9%増加し、2,710百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる繰延税金負債の増加等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6.9%増加し、17,105百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、40百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第3四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい異動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画についての著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成30年2月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は100株であります。
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年12月31日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成29年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 自己保有株式 2,895,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,838,800	268,388	
単元未満株式	普通株式 13,700		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		268,388	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,100株(議決権21個)含まれております。

【自己株式等】

平成29年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 - 4 - 9	2,895,700		2,895,700	9.73

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成29年10月1日から平成29年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,782,586	2,644,239
受取手形及び売掛金	2,558,594	2,839,727
有価証券	301,047	301,115
商品及び製品	1,824,765	1,972,132
仕掛品	154,957	100,064
原材料及び貯蔵品	1,472,434	859,761
その他	1,223,667	1,078,893
貸倒引当金	4,109	5,083
流動資産合計	9,313,943	9,790,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	839,796	824,271
機械装置及び運搬具（純額）	995,180	967,601
土地	2,046,860	2,527,435
建設仮勘定	47	-
その他（純額）	92,498	90,207
有形固定資産合計	3,974,384	4,409,515
無形固定資産		
のれん	393,946	304,925
その他	80,250	113,755
無形固定資産合計	474,196	418,681
投資その他の資産		
投資有価証券	6,348,699	7,378,580
関係会社長期貸付金	1,876,709	1,830,140
その他	267,900	249,112
貸倒引当金	24,710	18,517
投資その他の資産合計	8,468,598	9,439,316
固定資産合計	12,917,179	14,267,514
資産合計	22,231,123	24,058,365

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,498,110	1,758,750
短期借入金	1,430,302	1,397,283
未払法人税等	161,347	182,022
賞与引当金	107,032	58,998
その他	627,123	846,104
流動負債合計	3,823,916	4,243,158
固定負債		
長期借入金	1,000,750	1,063,546
退職給付に係る負債	63,122	28,032
資産除去債務	65,331	65,823
その他	1,271,056	1,552,759
固定負債合計	2,400,261	2,710,162
負債合計	6,224,177	6,953,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,077,791	2,049,343
利益剰余金	11,245,427	11,698,551
自己株式	717,003	717,025
株主資本合計	14,130,675	14,555,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,869,283	2,550,623
為替換算調整勘定	83,422	70,725
退職給付に係る調整累計額	41,319	34,979
その他の包括利益累計額合計	1,911,387	2,586,369
非支配株主持分	35,117	36,655
純資産合計	16,006,946	17,105,044
負債純資産合計	22,231,123	24,058,365

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	14,717,594	15,257,315
売上原価	11,456,423	11,743,453
売上総利益	3,261,170	3,513,861
販売費及び一般管理費	2,561,323	2,637,961
営業利益	699,847	875,900
営業外収益		
受取利息	27,957	22,742
受取配当金	61,404	64,523
為替差益	9,725	51,883
持分法による投資利益	83,363	120,823
その他	25,832	33,364
営業外収益合計	208,283	293,337
営業外費用		
支払利息	24,507	22,309
その他	8,588	61
営業外費用合計	33,096	22,371
経常利益	875,034	1,146,866
特別利益		
固定資産売却益	143,959	264
投資有価証券売却益	121,047	-
特別利益合計	265,006	264
特別損失		
固定資産除却損	263	433
減損損失	340,305	15,285
投資有価証券償還損	-	2,472
特別損失合計	340,568	18,190
税金等調整前四半期純利益	799,472	1,128,939
法人税、住民税及び事業税	381,987	369,149
法人税等調整額	63,815	38,504
法人税等合計	445,803	407,654
四半期純利益	353,668	721,285
非支配株主に帰属する四半期純損失()	267,769	27,215
親会社株主に帰属する四半期純利益	621,437	748,500

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	353,668	721,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	309,392	681,339
為替換算調整勘定	27,526	15,467
退職給付に係る調整額	5,916	6,340
その他の包括利益合計	287,782	672,212
四半期包括利益	641,451	1,393,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	921,834	1,421,428
非支配株主に係る四半期包括利益	280,383	27,930

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当第3四半期連結会計期間(自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
太平洋製糖(株)	487,500千円	450,000千円
南栄糖業(株)	53,873千円	千円
Fuji Nihon (Thailand) Co.,Ltd	28,240千円	62,790千円
(外貨建)	(8百万パーツ)	(18百万パーツ)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
減価償却費	288,253千円	198,926千円
のれんの償却額	89,020千円	89,020千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月18日 取締役会	普通株式	241,673	9.00	平成28年3月31日	平成28年6月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月18日 取締役会	普通株式	295,376	11.00	平成29年3月31日	平成29年6月8日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には記念配当1.00円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,357,230	4,834,914	449,639	75,809	14,717,594		14,717,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高			1,240		1,240	1,240	
計	9,357,230	4,834,914	450,880	75,809	14,718,835	1,240	14,717,594
セグメント利益 又は損失()	1,049,906	91,305	401,636	80,651	1,279,586	579,738	699,847

(注) 1 セグメント利益の調整額579,738千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「機能性素材」セグメントにおいて340,305千円の減損損失を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,323,900	5,363,137	460,023	110,254	15,257,315		15,257,315
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,867		2,833		6,701	6,701	
計	9,327,768	5,363,137	462,857	110,254	15,264,017	6,701	15,257,315
セグメント利益 又は損失()	1,127,524	13,541	411,095	99,312	1,452,849	576,949	875,900

(注) 1 セグメント利益の調整額576,949千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	23.14円	27.88円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	621,437	748,500
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	621,437	748,500
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,852	26,852

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年2月8日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内 田 淳 一

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 田 円

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成29年10月1日から平成29年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の平成29年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。